

瀬戸市美術館 ☎84・1093



陶祖800年祭

陶祖800年祭記念 せとのフェスタ2013 瀬戸市美術館特別展

## 第1回 瀬戸・藤四郎トリエンナーレ

—瀬戸の原土を活かして—

4/20 土 ▶ 5/26 日

陶祖800年祭を記念して開催される「瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」の入賞・入選作品を展示します。展示作品は、瀬戸の陶土を自ら採取、粘土を作り、成形し作品にするという一連の工程を経て誕生したものです。同じ原料から生まれた作品をぜひご覧ください。

時 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

場 瀬戸市美術館

料 一般500円、高大生300円、  
中学生以下・妊婦・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料

休 5/14(火)



とう し ろう  
藤四郎くん

文化課文化財係 ☎84・1093



## 新たに2件の文化財が指定されました

これまで50件の市指定の文化財がありますが、この度、新たに2件の瀬戸市指定文化財が加わりました。

### 品野祇園祭の神武天皇像と従者像 3体 種別：有形民俗文化財

品野祇園祭は、下品野地区で毎年7月第3土曜日の夜半に1台の山車を中心として神輿や踊りの隊列が中心部を巡行する、疫病除けなどを祈願する祭礼で、江戸時代末期ごろから行われているとも伝えられています。地区中の老若男女が参加して大変賑わうお祭りです。

山車の上層には、中央に神武天皇像(写真中央)、その左右に従者像(写真左、写真右)が祀られ、町内を練り歩きます。山車に神武天皇像を載せる祭礼は、昭和15年以前から確認され、県内では他に類例がなく、貴重な民俗文化財です。



### 古瀬戸瓶子 1対 種別：有形文化財(工芸) 時代：鎌倉時代(13世紀)

馬ヶ城地区の窯跡で発見され、永らく赤津地区の窯屋に伝えられてきたもので、ほぼ同形状の1対の瓶子(酒などの容器)です。やや張りのある肩部を持ち、下方に向かってすぼまる締腰形の器形です。薄い灰釉が施されており、肩から胴部下方にかけて釉が筋状に流れ落ちた「釉流れ」も美しい古瀬戸の優品です。



新世紀工芸館 ☎97・1001

## 企画展 小曾川 瑠那 山田 輝雄 | 6/23 日 まで 開催中

ガラス作家の小曾川瑠那氏、山田輝雄氏の作品を展示します。

時 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

場 新世紀工芸館 展示棟

料 無料

休 火曜、5/15(水)午前



小曾川 瑠那



山田 輝雄